

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【公開番号】特開2001-77878(P2001-77878A)

【公開日】平成13年3月23日(2001.3.23)

【出願番号】特願平11-323446

【国際特許分類】

H 04 L	29/06	(2006.01)
H 04 Q	7/38	(2006.01)
H 04 L	12/28	(2006.01)
H 04 L	12/66	(2006.01)

【F I】

H 04 L	13/00	3 0 5 C
H 04 B	7/26	1 0 9 M
H 04 L	12/28	3 0 0 Z
H 04 L	12/66	A

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月8日(2006.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 装着されたホスト機器との間で物理的接触手段を介してデータを授受する有線通信手段と、

近距離無線通信網を介して外部の通信網とデータを送受信する近距離無線通信手段と、上記通信網に関する情報である通信設定情報が格納される記憶手段と、

上記記憶手段に記憶された通信設定情報に基づいて、上記近距離無線通信網を介した上記通信網との接続関係を設定し、上記通信網と上記ホスト機器との間のデータの送受信を制御する通信制御手段とを備えることを特徴とする通信装置。

【請求項2】 上記記憶手段には、上記ホスト機器を操作するユーザに関する情報である個人情報が記憶され、上記通信制御手段は、上記記憶手段に格納された通信設定情報及び上記個人情報記憶手段に格納された個人情報を用いて、上記ホスト機器と上記通信網との接続を設定することを特徴とする請求項1記載の通信装置。

【請求項3】 上記記憶手段には、PPP(Point to Point Protocol)、IP(Internet Protocol)、TCP(Transport Control Protocol)のうち少なくとも一のプロトコルが格納され、上記通信制御手段は上記記憶手段に格納された少なくとも一のプロトコルを用いて上記ホスト機器と上記通信網との接続を設定し、上記ホスト機器と上記通信網との間のデータの送受信を制御することを特徴とする請求項1記載の通信装置。

【請求項4】 上記ホスト機器に格納されたPPP(Point to Point Protocol)、IP(Internet Protocol)、TCP(Transport Control Protocol)のうち少なくとも一のプロトコルを用いて上記ホスト機器と上記通信網との接続を設定して上記ホスト機器と上記通信網との間でデータの送受信を行うか、上記記憶手段に格納された少なくとも一のプロトコルを用いて上記ホスト機器と上記通信網との接続を設定して上記ホスト機器と上記通信網との間でデータの送受信を行うかを判定する判定手段を備え、上記記憶手段に格納された少なくとも一のプロトコルを用いて上記ホスト機器と上記通信網との接続を設定して上記ホスト機器と上記通信網との間でデータの送受信を行う旨の判定結果に応じて、

上記通信制御手段は上記記憶手段に格納された少なくとも一のプロトコルを用いて、上記ホスト機器と上記通信網との接続を設定し、上記ホスト機器と上記通信網との間のデータの送受信を制御することを特徴とする請求項3記載の通信装置。

【請求項5】 上記通信制御手段は、上記ホスト機器から入力されたパスワード情報を用いて上記記憶手段に記憶された個人情報が使用可能か否かを判定し、判定結果に基づいて、上記ホスト機器と上記通信網との接続を設定することを特徴とする請求項2記載の通信装置。

【請求項6】 上記記憶手段は、上記ホスト機器から上記有線通信手段を介して入力されたデータを一旦記憶し、上記通信制御手段は、上記記憶手段に記憶されたデータを上記通信網の間で送受信を行うように制御することを特徴とする請求項1記載の通信装置。

【請求項7】 上記制御手段は、公衆通信網と上記ホスト機器との接続関係を設定し、上記ホスト機器と上記通信網との間でデータの送受信を制御することを特徴とする請求項1記載の通信装置。

【請求項8】 ホスト機器との間で物理的接触手段を介してデータを授受する有線通信部と、近距離無線通信網を介して外部の通信網とデータを送受信する近距離無線通信部とを備えた通信装置の通信方法において、

上記通信装置の内部に記憶した近距離無線通信網外の通信網に関する情報である通信設定情報を用いて、近距離無線通信網を介した上記無線制御装置と通信網との接続関係を設定し、

上記通信装置と通信網との接続関係を用いて、上記通信装置と通信網との間でデータの送受信を行うとともに、上記ホスト機器と通信装置との間でデータの授受を行って、

上記ホスト機器と通信網との間のデータの送受信を制御することを特徴とする通信方法。

【請求項9】 单一筐体内に、装着されたホスト機器との間で物理的接触手段を介してデータを授受する有線通信手段と、

近距離無線通信網を介して外部の通信網とデータを授受する近距離無線通信手段と、

上記通信網に関する情報である通信設定情報が格納される記憶手段と、

上記記憶手段に記憶された通信設定情報に基づいて、上記近距離無線通信網を介した上記通信網との接続関係を設定し、上記通信網と上記ホスト機器との間のデータの送受信を制御する通信制御手段とを収容し、上記通信制御手段の一方側に上記有線通信手段を配置し、上記通信制御手段の他方側に上記近距離無線通信手段を配置したことを特徴とする通信装置。

【請求項10】 少なくとも一部がホスト機器に設けられた凹状接続部に着脱自在な所定の外形寸法で構成された筐体内に、

装着された上記ホスト機器との間で物理的接触手段を介してデータを授受する有線通信手段と、

近距離無線通信網を介して外部の通信網とデータを授受する近距離無線通信手段と、

上記通信網に関する情報である通信設定情報が格納される記憶手段と、

上記記憶手段に記憶された通信設定情報に基づいて、上記近距離無線通信網を介した上記通信網との接続関係を設定し、上記通信網と上記ホスト機器との間のデータの送受信を制御する通信制御手段とを設けたことを特徴とする通信装置。

【請求項11】 上記筐体は、板型形状であり、上記筐体の一方端には上記近距離無線通信手段が配置され、上記筐体の他方端には上記有線通信手段が配置されることを特徴とする請求項10記載の通信装置。

【請求項12】 上記筐体は、他方端を上記ホスト機器から外部に露呈して上記ホスト機器の凹状接続部に接続されることを特徴とする請求項11記載の通信装置。

【請求項13】 上記近距離無線通信手段は、板状に成形されたチップアンテナを含み、このチップアンテナを介して上記近距離無線通信網との間でデータを送受信することを特徴とする請求項11記載の通信装置。

【請求項14】 上記チップアンテナは、上記筐体の他方端の厚さが一方端の厚さより

も大きい突出部を有して上記筐体の他方端に収容されることを特徴とする請求項13記載の通信装置。

【請求項15】 ユーザにより操作され公衆通信網と接続してデータを授受する公衆通信接続手段と、

近距離無線通信網に含まれる他の機器との間で当該近距離無線通信網を介してデータの送受信を行う近距離無線通信手段と、

上記公衆通信網を介して接続する外部の通信網に関する情報である通信設定情報が格納される通信設定情報記憶手段と、

上記通信設定情報記憶手段に格納された通信設定情報を用いて、上記公衆通信網を介して上記通信網との接続を設定する通信接続設定手段と、

上記通信接続設定手段により設定された上記通信網との接続関係を用いて、上記他の機器と上記通信網との間でデータの送受信を行うように制御する制御手段とを備えることを特徴とする通信端末装置。